

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1890100652		
法人名	特定非営利活動法人 福井福祉医療開発研究所		
事業所名	グループホーム レインボー灯明寺		
所在地	福井県福井市灯明寺町59-12-1		
自己評価作成日	平成26年12月22日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/18/index.php">http://www.kaigokensaku.jp/18/index.php</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会		
所在地	福井県福井市光陽2丁目3番22号		
訪問調査日	平成27年1月14日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気の中で本人のペースでゆったりとのんびり過ごしていただいています。生活リハビリに取り組み、できることの支援に努めています。併設している認知デイサービスのご利用者様とも交流し、レク等楽しく過ごせるよう努めています。暖かい時期は外出等に多く出掛け気分転換をしています。運営推進会の際、参加されたご家族や民生委員、包括の方にも食事等食べていただき、感想をお聞きし改善が必要なときは改善に努めています。避難訓練の様子を見ていただいたり、消火活動の方法も実際にしていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

平成26年4月に開設した新しい事業所であり、150所帯が住む住宅地に「住宅」として溶け込んでいる。開設前に十分研修を行い、職員はキャリアアップを意識しながら業務に取り組んでいる。若年性認知症の利用者を受け入れるためのプログラムを設ける等、新たなニーズに応えられるように努力している。サービスの質の向上に向けた研修を定期的に行い、地域の期待に応えられるよう日々精進している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ミーティングを行う場所に理念を貼り、それぞれが読み上げてから仕事するようにしている。	開所にあたり職員が大事にしたいことについて話し合って理念を作った。理念は見える場所に掲示し、チラシに掲載している。また、職員は業務開始前に理念を唱和している。	理念を更に具体化した事業所としての方針、目標を作成し、職員間で共有することを期待する。
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入り、地区行事に参加している。(市の防災訓練、公園清掃、地域の祭り等)散歩の際も地区の方とあいさつを交わしたり会話を楽しんでいる。	町内会に加入し地区の夏祭りや公園清掃に参加したり、ボランティアの協力を得て敬老会を行ったりしている。他法人が運営する近くのグループホームと交流がある。中学生の体験学習を受け入れたり、民生委員から地域の認知症の住民の対応を依頼されたりすることがある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で認知症の勉強会を行い、ケアの方法をアドバイスしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では活動報告を行っている。その際活動風景をプリントし、見やすくしている。	家族、民生委員、自治会長、地域包括支援センター職員が参加し、行事への参加を促すとともに地域の情報を得ている。行事と同時開催をしたり、認知症の勉強会を行ったりして、参加率を高める工夫をしている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村からのお知らせやパンフレット、新聞の切り抜き等、玄関に貼るようにしている。	「認知症サポーターキャラバン」のマスコット「ロバ隊長」を利用者と職員で作る活動等を通して、市職員との協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	重要事項説明書に記載し、職員間でも申し合わせている。	開所前に倫理規程について話し合った。身体拘束廃止のマニュアルがある。以前、帰宅願望のある利用者がいたが、思いを受け止め、散歩など好きなことができるよう支援した。夜間以外は施錠をしていない。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行っている為、虐待はない。職員全員にも徹底している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	代表者は社会福祉士を取得し、成年後見制度に関する研修にも積極的に参加している。必要のある家族に活用のための説明をできるようにしている。裁判所に出向き、申請のための学習もしたことがある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・退去するにあたり、家族の方と不安な点、疑問点について十分話し合い理解してもらっている。 面会の際に話があった時はその都度説明している。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	窓口及び職員について、契約時に話している。苦情があったときは早急に対応するようにし、返答している。	運営推進会議の案内に意見要望を記載できる欄を設け、出た意見要望を検討して報告、協議をしている。面会の際は、家族と話せる時間を作り、意見や要望等を収集している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	早期退職せず長期にわたって働けるように勤務内容の見直しや、意見の取り入れを行っている。	毎食後のミーティングや、毎月の個別面談で職員から意見を聞いている。理事長、施設長、管理者、主任、相談員が出席する幹部会で職員の意見を検討している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年1回の昇給と資格手当がある。又、有給休暇の未取得者への報酬もある。 勉強会での優秀指導者には、金一封が出るようになった。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には機会がある毎に参加してもらっている。職場内勉強会の指導は、職員が内容を検討し行うようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会に加入したことで、近くのグループホームとの交流会を行っている。職員がお互いに相談し合っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学や面会の時に本人と話す機会を持ち、困っていることや不安に思っていることを聞くようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が見学や申し込みに来られた際、困ったこと、不安なこと等、話を聞くようにしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学、申し込みに来られた際の話によっては、他のサービスを勧めている。又、早急な対応が必要と感じた時は、他の施設への申し込みも勧め、紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	介護するという考えではなく、共に寄り添って生活リハビリを行いながら本人らしく生活出来るよう、一緒に過ごしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は面会時に家族の思い、不安や不満、希望についても十分聞くように努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	女学校時代の友人や御近所の方にも、面会に来てもらっている。	利用者や家族から馴染みの関係を聞き取り把握している。友人や地域住民、家族の来訪が多い。事業所での利用者の様子を撮った写真を家族等に配るなどし、馴染みの関係が継続するよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	外出時等、仲の良い利用者が一緒に行けるように配慮している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在契約を終了した利用者はいないが、他施設や医療機関へかわられた後でも面会に行き、様子を聞くようにしたい。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話の中で利用者の思いを聞き、出来る事はなるべく叶えている。	日頃から利用者の意向を把握し「本人のできること探しシート」に記載し、支援の振り返りとして活用している。家族から生活歴の情報を得て得意分野を活かした支援計画を作成し、日常生活の充実と生きがいを共に見出した成功例がある。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族から過去のことを聞いたり、昔のことをよく覚えている方からも生活歴を聞くようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日バイタルチェックや排泄チェックを行い、健康管理に努めている。一日の過ごし方も記録に記入し、少しの変化にも気付けるようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	面会やケアプラン説明時に家族の声を聞くようにしている。	家族との連絡ノートや担当職員の意見を反映し、利用者本位の「生きたプラン」を作成している。「介護保険証情報シート」に見直し時期を記載して把握している。利用者の状態変化に応じてケアプランを変更している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	その都度介護記録に記入し、職員が目を通すようにしている。ミーティングや連絡ノートに記入し、見直しに努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族や利用者の要望に応じて、受診や買い物への付添いの支援を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの方が来て下さり、歌や踊りのショーを見せて楽しませてくれている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者を中心に考え、かかりつけ医がある場合はそのまま継続し受診して頂いている。変化があった時は受診に付添って医師に伝えたり、手紙を添えるようにしている。	定期受診は家族が行い、車いす対応が必要な利用者は事業所が送迎している。受診時には主治医に利用者の状態を書面で報告し、家族からも主治医の診断内容を必ず確認している。歯科医の往診がある。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	事業所内に看護職員1名を配置し日頃の健康管理をお願いしている。受診が必要な時は受診付き添いをしてもらい、医師に状態を伝えてもらう。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	グループホームに入居中であることを理解してもらい、早期退院をお願いしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明しているが、話し合い説明のうえ対応している。重度化した場合は医療機関、老健施設や介護老人福祉施設等、他施設の紹介を行っている。	利用前に看取りはしないこと、重度化、終末期は特別養護老人ホームや病院等に移行することを家族に説明している。マニュアルは整備していない。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルを作成していて、勉強会も行っている。マニュアルは事務所棚のわかりやすい場所に片付いており、職員誰もが目を通せるようになっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域の消防署の協力にて年2回の避難訓練を実施し、避難方法・消火訓練も学んでいる。	運営推進会議委員も参加し、火災想定や夜間想定で避難訓練を行っている。また、地区の防災訓練にも参加している。	水や非常食、備品等を備蓄し、地域との協力体制を築きながら、豪雨や地震等を想定した災害対策を行うことを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレの声掛けや確認は他の方に聞こえないように小声で行うように指導している。又、人生の先輩という気持ちで対応するように心がけている。	入浴は同性介助に努めており、職員の利用者に対する対応が不適切な場合は、その都度管理者が指導している。	利用者一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーに配慮した言葉がけや対応について学ぶ勉強会等を開催し、職員同士が自らの支援を振り返る機会を作ることを期待する。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	散歩やレク等は利用者に任せ、選択していただいている。 入浴の曜日は決まっているが、時間等は希望を聞くようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事やおやつ等、あとで食べたいという方には時間を遅らせて、本人のペースで食べていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問ヘアカットを利用する方、なじみの美容室へ通う方がおられ、好みの髪型にしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食の希望を聞くようにし、献立作成に活かしてもらおう。 食器洗いや皿拭きの手伝いをお願いしている。	栄養士が利用者の好みを把握し、食事が進むように工夫している。利用者は下処理、下膳等できることを行っている。また、職員と一緒におやつ作りを行い、バイキング昼食会には家族も一緒に参加している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士が献立を作成している。利用者の方に合わせて量や食べやすい大きさ・形状にして提供し、完食出来るようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っている。うがいの困難な方には水を含ませたガーゼで口の中をふき取るようにしている。義歯の方は夜間外してもらい、消毒するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人1人の排泄パターンを把握できるように、排泄チェック表を活用している。誘導の必要な方には、声掛けに気をつけながら行っている。	排泄チェック表を活用し、利用者の排泄パターンを把握し支援している。夜間は、利用者が居室からトイレに出てきた時にすぐに介助ができるよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	午前中にバナナや牛乳を摂るようにしている。ラジオ体操を行い、体を動かすようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴の順番や湯の温度等、利用者の希望を聞いている。介助者は女性がいいといわれる方には女性が付くようにしている。	原則として週2回であり、入浴時間は利用者の希望に応じ、同性介助の希望にも対応している。機械浴と一般浴があり、浴室、脱衣室ともに冷暖房を完備している。利用者は一人での浴槽入浴を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼寝の習慣のある方には自室にて休んでいただくようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤情報は個人ファイルに保管している。その他看護職員が何を服薬しているかわかりやすく表記している。薬のセットは2人でチェックすることでセットミスなくしている。服薬時は薬を飲み込むまで見守りしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食器洗い、食器吹き、洗濯物たたみ、調理手伝い等その方の出来ることをお願いしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族の協力にて、家族と一緒に外出に出掛けたり、家に帰って過ごしたりしている。お盆にはお墓参りにも出掛けている。天気の良い日は近所を散歩したり、地域の方とあいさつを交わしている。	近隣の散歩や買い物に留まらず、桜、ツツジ、ユリ、コスモスの花見、フェニックス祭り、竹田の里、歴史博物館、市役所の見学など、様々な場所に外出をしている。また、近所の喫茶店に職員と共に行き、ケーキセットなどの外食をすることもある。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	こちらで管理している方が多いが、自分で小遣い程度を所持している方もおられる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をかけたいと希望する時はこちらからかけて会話できるようにしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関の棚に利用者の方に作っていただいた季節に合わせた飾りつけをしている。また、フロア内のボードには写真等を飾り、ご家族に見ていただいている。	共用空間を中心として、四方にトイレを配置しているため、車いすでの移動がしやすい。壁面に利用者の作品や写真を飾っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う利用者同士、同じテーブルに座っていただくようにしている。ソファでも自由に過ごしていただいている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の方が今まで家で使用していた思い出しの品物を持ってきていただき、自分だけの落ち着いた部屋にしている方もおられる。	ベットのサイドに思い思いの家族写真などが飾られている。使い慣れた家具や冷蔵庫を持ち込んでいる利用者もいる。布団を希望する場合は、床にマットと布団を敷いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	キッチン作業ではまず職員が手本を見せ、見守りを行うことで自信を持ち作業している。晴れた日はベランダに出て、職員と一緒に洗濯物干しを手伝っている。出入りの際、段差に気を付け見守りをしている。		